



奈良教育大学後援会

会報

《第26号》

2024. 12. 1 発行

発行：奈良教育大学後援会事務局 奈良市高畑町奈良教育大学内 電話 0742-27-9276 FAX 0742-27-9146



夢を実現させるために

奈良教育大学後援会
会長 赤松 知哉

後援会会員の皆様には、日頃より後援会活動にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

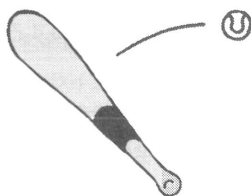
まず、本年9月の石川県能登半島豪雨での被害に遭われた方々におかれましては、年初の能登半島地震に続き、復興最中での重ねての災害となり、心よりお見舞い申し上げます。早期復興をお祈りいたします。

さて本年、大リーグのドジャースに移籍した大谷翔平選手が、長年の夢であるワールドシリーズ制覇を成し遂げました。今季、50本塁打以上・50盗塁以上を記録する「50-50」を達成、また2年連続3度目のシルバースラッガー賞を受賞。現在3度目のMVP受賞が有力視されている大谷選手。その活躍は、さまざまな教科書に掲載されているそうです。小学校道徳の教科書では「夢を実現するためには」という内容で紹介されていて、大谷選手が小学3年生の時から「プロ野球選手になりたい」と言い続けてきたことや、具体的な目標を決めて練習してきたことを取り上げ、マンガラチャートと呼ばれる高校時代に活用していた「目標達成シート」も紹介されています。

高校時代の監督からの教えにより作成したこのシートは、強い目標（夢）を中心に置き、周囲9×9の合計81マスに細分化した目標を書き込んだものです。大谷選手が最初に書いた夢は「8球団からのドラフト1位指名」でした。そして、中央の目標（夢）を達成するために必要な要素を8つ記入し、さらにこれらを達成するための具体的な目標を8つずつ記入したのです。彼はこのシートを作成する際、なるべく具体的に、また少し高い目標を書き込むようにしたと話しています。目標を明確にし、それらを可視化すると、思考整理でき目標達成への道を見失わずに済むとのこと。学生の皆さんはすでにこのシートについてご承知と思いますが、改めて夢の実現に向けて具体的な目標を書き込んでみるのも良いかもしれません。

皆さんが未来の目標に向かって充実した学生生活を送れることを願っています。

会員の皆様には、今後ともご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



没頭することの意義

国立大学法人奈良国立大学機構
奈良教育大学
学長 宮下 俊也

奈良教育大学後援会の皆様におかれましては、日頃より本学の教育・研究にご理解・ご協力をいただき、学生の学びを様々な面からご支援いただいておりますことに、深く御礼申し上げます。

酷暑で長い夏が終わったと思ったら、すぐにダウンジャケットを引っ張り出してこなければならなくなった今。キャンパスのイチョウやモミジも鮮やかに透き通った色彩を放つ前に散ってしまった風景を見ると、「今年の秋はいつやって来て、いつ去ってしまったのか」、「四季の美しさも異常気象によって奪われていってしまうのか」と、秋の哀愁とはまったく異なる悲しみを感じます。

そんな中、先週は秋恒例の学園祭が行われました。本学学園祭の最大の特徴は、地域子どもたちが多く来場してくれることでしょう。教育大学ならではの学園祭です。「なっきょんアイランド」では、受付からそれぞれの「アイランド」でのイベントまで、学生が子どもと楽しく関わっていました。また、子どもの目線に合わせるため、膝をついて話し、サポートしている姿は印象的で、「きついい先生になるだろうな」と嬉しい気持ちになりました。大学祭実行委員会の学生も、準備から片付けまで、この最大のイベントを成功させようと、活動に没頭している様子をうかがうことができました。

私の人生の中で、「秋が来れば思い出す」のは61年前の9月3日です。その日、私はあこがれていたアマチュア合唱団に勇気を出して入団し、それ以後10余年の間、週3回の練習や演奏会に没頭しました。そこで出会った合唱をこよなく愛す大手企業の社長さん、バリバリの官僚、個人経営の書店の主人、練習が終わると夜勤に戻る看護師さん、理系の学生、法学部の学生等々と合唱に没頭することを通して、音楽以外に向かう視野やネットワークが格段に拡がり、音大では学ぶことができなかった音楽の本質もやっとならなるようになりました。何かに没頭する経験は人生を豊かにしてくれることは言うまでもないですが、自分と等しく没頭する仲間とともに没頭し合うことが重要です。本学の学生もそんな経験を教職に就く前に積んでほしいと願います。

最後になりますが、国立大学の財政的厳しさは今も続いております。どうか後援会の皆様には、引き続きご支援のほど、どうかよろしくお願ひ申し上げます。



奈良教育大学「未来を育む基金」について
(パンフレットも同封しています)



いかにして 正しい情報を得るか

国立大学法人奈良国立大学機構
奈良教育大学
保健センター長 辻井 啓之

奈良教育大学後援会の皆様におかれましては、日頃より本学の教育・研究活動にご理解、ご支援をいただき、深く御礼申し上げます。

2000（平成12）年に本学保健管理センターに着任した私は、今年度をもって定年退職となります。2004（平成16）年に国立大学法人法が施行され、その際本学保健管理センターは保健センターに名称変更いたしました。私は産業医として学生のみでなく教職員の健康管理も担うようになりました。

この間、大学を巡る環境も大きく変わりました。最も変化を感じるの、インターネット環境です。携帯電話の個人所有が当たり前になった後、スマートフォンも一人一台が普通になった結果、PCから一般的なであったインターネットアクセスがより容易になり、種々のSNSサービスが普及しました。もちろん良い面もありましたが、個々人のコミュニケーションの取り方、情報の取り方に大きな違いが生じました。

そういう環境変化の中、2020年からコロナ禍に突入しました。医療職も大変でしたが、学校現場、大学も混乱しました。マスク着用、ソーシャルディスタンスが広く提唱されることによって、リモート授業やリモートワークが一気に広まりました。コロナ禍でのマスコミの発信には、振り返ってみると疑問に思う点も少なくありませんでした。

21世紀に入って、様々なテクノロジーが急速に発達した結果、生成AIなど使い方によっては非常に優れた部分もありますが、大学生のメンタルヘルスがかなり悪くなったのは間違いのないところです。従来の、直接顔を合わせてのコミュニケーションが苦手な人が増えています。カウンセリングの充実、合理的配慮等、学生支援も努力してまいりましたが、極めて対処が難しい問題でもあります。

最近、衆議院選挙やアメリカ大統領選挙、話題となった兵庫県知事選挙など、選挙が続きましたが、TV、新聞の印象操作が激しく、一方ネットの情報はまさに玉石混淆で不適切な表現も見られます。何が本当なのかの判断が非常に難しく、世代間や世論の分断も大きな問題です。過渡期であるとの解釈も可能かと思いますが、是々非々で情報を判断することの困難な時代だと強く感じるこの頃です。



☆☆☆ キャリアサロン情報 ☆☆☆ 「人との関係を構築できる力」を！

キャリアアドバイザー
平尾 眞実

キャリアアドバイザーは、主な業務として、学生が希望する職業に就けるように進路相談に乗ったり、面接練習や文書添削を行ったりしています。特に、教員については、就職してからしっかりと活躍できる教員になっていただけるように支援できればと考えており、小中高等学校それぞれの校種の校長を経験した3名が支援を行っています。

最近の就職試験では、教員に限らず面接試験による人物評価の結果が重視される傾向にあります。教員採用試験では、事実上ほぼ人物評価のみで合否結果が判断される自治体があります。そのため個人面接の練習に最も時間をかけています。日々の面談の中で、教壇に立つてからも活躍できる教員になれるように、学校現場の話も交えながら指導と支援をさせていただいています。

予測困難な時代—VUCAの時代と言われる今、求められる教師像とはどのようなものでしょうか。そして、学生たちはどのような力を身につければいいのでしょうか。教員採用試験で採用側が公表している「求める教師像」から見ていきますと

- 教育者としての使命感・責任感・情熱・子どもに対する愛情
- 教科等に関する優れた専門性と指導力、広く豊かな教養
- 総合的な人間力
- 学び続ける力

が多くの自治体であげられています。これらの中で、講義やゼミの力ではなかなか身につかないものが総合的な人間力です。総合的な人間力とは、社会性、コミュニケーション力、同僚とチームで対応する力、地域や社会の多様な組織等と連携・協働できる力だと言われており、人との関係を構築できる力だと考えられます。

個人面談をしていると、コロナ禍の影響が大きいのか学生の話からは、生活全般にわたり控えめな印象を受けます。自ら働きかけると言うよりしてもらえるのを待っている経験が多いのではないかと感じます。また、教員という仕事に魅力を感じながらも、自分はやっていけるのだろうかと不安を感じていることが多いことにも気づきました。そこで学生時代に本業である勉強のほかに、部活動、アルバイト、ボランティア活動、読書や趣味等に時間を使って自分を磨くことを考えてほしいと伝えています。これらの活動は、自分を創り、広げ、深めます。知らず知らずのうちに社会性やコミュニケーション力、他者と協働する力などが育まれ、壁にぶつかったときに乗り越える力に結びつくと考えます。そのような気持ちをもてるように大学の教員やスタッフで、大学の課外活動への参加を勤めて、活発なキャンパスライフを支援していくことが、学生の人間関係を構築する力の育成につながると思っています。

すべての学生が、自信をもって卒業後の第1歩を踏み出せるよう、後援会の皆様方には、これからも学生たちのさまざまな活動にご支援いただきますようお願いいたします。

☆☆☆ 就職支援室情報 ☆☆☆

○「就職及び支援状況について」

奈良教育大学就職支援室

森田 員 功

1. 教員の採用状況等について

公立学校の教員採用試験の採用者数（募集人員）は、近畿地区では昨年度より若干増加傾向にありますが、減少した地域もあります。校種別では、小学校が大きく増加しています。（資料1）

令和6年度実施の教員採用試験の本学学生の合格状況については、10月時点の集計で、次のとおりとなっています。（資料2）

（資料1）

	小学校	中学校	高等学校	特別支援	養護教諭
奈良県	145 (135)	85 (80)	78 (74)	40 (40)	12 (12)
大阪府	450 (300)	300 (250)	230 (210)	200 (200)	40 (40)
大阪市	410 (420)	230 (240)	—	—	20 (20)
堺市	120 (110)	55 (100)	—	—	5 (7)
豊能地区	70 (100)	70 (60)	—	—	若干名
兵庫県	415 (365)	285 (285)	240 (240)	90 (80)	30 (20)
神戸市	215 (150)	140 (130)		50 (40)	15 (10)
京都府	150 (140)	80 (70)	110 (105)	50 (50)	10 (5)
京都市	150 (90)	70 (60)	15 (15)	50 (50)	10 (10)
和歌山県	110 (160)	58 (77)	50 (46)	32 (34)	11 (6)
滋賀県	230 (230)	150 (140)	100 (120)	50 (60)	15 (10)

※募集者数は、府県により「～名程度」、「約～名」で記載されている。
※（ ）内は昨年度を示す。

（資料2）

奈良県	大阪府	大阪市	豊能地区	兵庫県	神戸市
34	19	13	5	9	4
京都府	京都市	滋賀県	福井県	岡山県	その他
7	1	2	2	2	18

※合格者には保育士及び私立学校合格者を含む。

本学では教員採用試験対策の支援として、模擬試験、各教科の対策セミナー、模擬面接、模擬授業、キャリアアドバイザーの個別相談などを行っています。

2. 企業の就職状況について

本学では、毎年40名前後の学生が企業就職しており、企業就職希望者を対象とした、オンラインの個別相談を適宜実施するとともに、3回生の春にインターンシップ対策講座を、10月から12月にかけて、自己分析、企業研究、面接対策などの講座を実施し、企業就職を目指す学生の支援を行っています。

（就職支援室からのお願い）

就職支援室では、学生が充実した学生生活を送り、希望する進路に進めるように、様々な支援を行ってまいります。保護者の方々におかれましては、本学で実施する就職支援についてご理解を賜りますとともに、各種支援の積極的な活用をお薦めいただきますようお願い申し上げます。

☆☆☆ 課外活動の日々 ☆☆☆

○ 第75回奈良教育大学大学祭『輝薨祭』の活動

第75代大学祭実行委員会委員長
学校教育教員養成課程

3回生 豊田 凜 磨

第75回輝薨祭が11月16日（土）と17日（日）に開催されました。

今年度の学祭のテーマは「奈教魂 We can Leap High」として、学祭全体を昨年度よりも飛躍（Leap High）したものをお届けするためにたくさんの準備を行ってきました。

毎年恒例のお化け屋敷や子どもフェスティバル、国際三輪車レースだけでなく、今年度は模擬店数を増やしたり、新たなイベントが加わったりなど、昨年度よりバージョンアップした学祭を開催することができました。

今年度は「海外」をイメージした装飾品で学内を彩り、子どもフェスティバルでは海外旅行から連想されるゲームや劇でたくさんの子どもたちにも海外旅行に来たような気分を味わいながら楽しんでくれていたという様子がたくさんの子どもの表情から感じることができました。例年企画のお化け屋敷やのど自慢大会、模擬店では子どもたちだけでなく多くの学生や来場者の方の楽しむ姿を見ることができました。

たくさんの来場者の方に満足感を与えられる輝薨祭を開催することができたのは、共に歩んできたかけがえのない仲間をはじめ、後援会の皆様だけでなく大学関係者の方々、そして地域の皆様のご協力があったからこそと感じます。多大なるご協力とご支援をいただいた皆様に深く御礼申し上げます。

今年度の反省を活かし今後の輝薨祭を飛躍（Leap High）したものにするため、委員一同邁進してまいります。



○書道教育専修 2 回生展について

書道教育専修 2 回生一同

9月25日(水)～9月30日(月)の期間、学内山田ホールにて書道教育専修2回生展「一握の筆」を開催させていただきました。

今回の回生展では、「漢字作品」「仮名作品」「創作」「共同制作」の4つに取り組みました。「漢字作品」「仮名作品」はそれぞれ、古典として残る作品を模して書く臨書を行います。古典を手本としていても、書きぶりには書き手の個性が現れます。共に過ごす時間も2年目となり、お互いの字の個性や好きな作品の系統もわかってきました。昨年より一層、個性が輝くような作品作りができたと思います。「創作」は、各個人で好きな形態でオリジナルの作品を作ります。今年は私たちが20歳になる年であるため、節目の感謝を表す作品が多く見受けられました。同じく「共同制作」でも20歳を記念した年表を製作しました。

回生展は授業外の時間で作品制作や表具を行わなければなりません。今年は工事の影響で変更点も多くあり、困難に行き当たることもありました。しかし、こうして無事開催し、多くの方にご来場いただいたことで、努力も報われたように思います。

4回生は卒業制作展への取り組みが主となりますので、回生展としては来年の3回生展が最後です。より一層成長した姿をお見せできるよう、精進いたします。



○部活紹介 硬式野球部

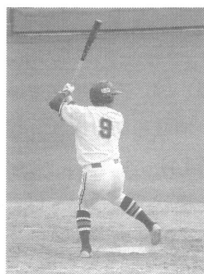
学校教育教員養成課程教科教育専攻

4回生 是澤太陽

私たち硬式野球部は、現在部員20名、マネージャー3名で活動しています。週4日の全体練習に加えて多くの選手が個人練習を行っておりスキル向上に努めています。今回の秋季III部リーグ戦では、6勝2敗の成績を残し優勝することが出来ました。その後の入れ替え戦では、II部6位の東大阪大学と対戦し、2勝1敗で目標のII部昇格を達成することが出来ました。

近年硬式野球部の広報活動に力を入れ、たくさんの方々に応援して頂けるようになり、非常に嬉しく思います。また、バッティングゲージや外野ネットなど予算がない中でも工夫を凝らして環境を整えて参りました。これからもより良い環境でプレーできるように工夫を凝らしていきたいと思っております。

現在はオフシーズンとなっております。スキル練習に加えてサーキットトレーニングに全員で取り組み、体づくりに励んでおります。また、高校生への技術指導等の派遣事業にも取り組んでいく予定です。春季リーグでは上位進出を目指して部員一同精一杯頑張りますので応援よろしくお願い致します。



☆☆☆「学習奨励費をいただいて」☆☆☆

学校教育教員養成課程教科教育専攻

4回生 佐藤 蘭

私は現在、理科の中学校教諭一種免許状および高等学校教諭一種免許状の取得に向けて勉学に励んでいます。大学の講義を通して、理科教師には教科書に掲載された理科知識だけでなく探究的な授業の指導技術も必要になってくると学びました。また、多くの知識を持ちその中のほんの一部を教えるのが教師だということも学びました。私は、たくさんの知識を持つことで身近な生活に学校での理科の学びを結び付けることができるような授業を行い、理科に関心を持ってもらうことができる教員を目指しています。そのために、私は必修単位の授業のみでなく資格の取得や専門的な知識を増やすための専門科目の授業をたくさん履修し、さまざまな専門的な文献を読みました。学習奨励費をいただいたことで文献を手にすることができ、様々な資格の取得ができました。

また、大学生生活の学びの集大成として卒業論文に取り組んでいます。卒業論文に取り組むにあたり、文献を渉猟するだけでなくテーマにかかわる研究会に参加し勉強をしています。学習奨励費を研究会の参加のためにも活用させていただき机上の学びだけでは得ることができない多くの知識や経験を得ることができました。

在学中に学習奨励費をいただいたことで得ることができた様々な学びを、教師という立場で子どもたちに与えることができるように残りの大学生生活も勉学に励み、様々な経験を積めるよう日々努力を重ねて参ります。

☆☆☆ 後援会からのお知らせ ☆☆☆

○令和7年度の学習奨励費の募集予定について

・書類配布 令和7年2月中旬ごろ

(後援会のHPに掲載予定)

○会報の発行

会報の発行 奈良教育大学後援会事務局

住所 奈良市高畑町奈良教育大学内

電話 0742-27-9276

kouenkai9276@yahoo.co.jp

<https://www.narakyokouenkai.com>